



# G1 経営者会議 2018

2018年11月25日 (日)

グロービス経営大学院 東京校

# ご挨拶

日本経済の中核を担う企業経営者たちが集い、世界における競争優位の構築に向けて議論し、行動するためのプラットフォームをつくりたい。そのような思いから2012年、「G1経営者会議」を立ち上げました。

2009年に立ちあげた「G1サミット」、そこから生まれた「G1 Global Conference」、「G1新世代リーダー・サミット」、「G1ベンチャー」に並ぶ会議となります。

これまで政界からは菅義偉官房長官、世耕弘成経済産業大臣、財界からはオリックスの宮内義彦シニア・チェアマン、三菱ケミカルホールディングスの小林喜光会長、東京電力の敷土文夫会長、経営共創基盤の富山和彦CEO、学界からは竹中平蔵教授、伊藤邦雄教授をはじめ、各界の第一線で活躍するリーダーの方々にお越しいただき、日本の成長戦略の実現に向けて、経営者のメンバーと共に、議論を交わしてきました。

G1という名称には、「GLOBALでのNo.1」「GLOBE (世界) がひとつになる」という思いを込めています。

「G1経営者会議」の目的は、3つです。

- I. 世界で活躍する日本企業の事例と課題を共有し、世界で戦うための知恵を結集する。
- II. 先人や異領域から学び、新たな時代を拓くリーダーとしての視座を養う。
- III. 国際社会に貢献し、次世代により良い社会を託すために、企業が果たすべき役割を議論し実行する。

日本のさらなる成長は、企業経営者のリーダーシップがあつてこそ実現できると考えます。

「G1経営者会議」の場から、日本の変革に向けた行動につなげていきたいと思えます。

大いに議論し、学び、出会い、行動へと移していきましょう。

一般社団法人G1 代表理事  
グロービス経営大学院 学長  
グロービス・キャピタル・パートナーズ 代表パートナー

堀義人



## 開催概要

日時	2018年11月25日(日) 9時00分～18時30分(予定) 終了後懇親会 18時45分～20時00分(予定)
場所	グロービス経営大学院 東京校(東京都千代田区二番町5-1 住友不動産麹町ビル) アクセス 有楽町線麹町駅より徒歩1分
参加者	企業の経営者、取締役または執行役員(完全ご招待制)、一社につき一名様にご参加いただけます ※女性のご参加者を含む場合は一社二名までご参加いただけます。また女性活躍推進の一環として女性の場合は部長職相当の方もご参加いただけます。 ※企業経営者に加え、G1サミットの参加有資格者である、政治・ビジネス・文化芸術など各領域の第一線で活躍の方々もご招待いたします。
参加料	お一人様118,000円(参加費・懇親会費・消費税含む) 早期申込割引:9月14日(金)までにお申し込みいただいた場合は98,000円となります
申込締切	10月12日(金)※定員になり次第締め切らせていただきます
人数	250名程度(先着順)
主催	一般社団法人G1/株式会社グロービス

## 申込概要

下記URLよりご登録をお願いいたします。(5月中旬よりお申し込み可能です)

G1経営者会議ウェブサイト:<http://glsummit.com/glexecutive/> (「G1経営者会議」でご検索ください)

- ・参加者用パンフレット作成のため、お写真及びプロフィールをお申し込み時に頂戴します。
- ・当日の様子は写真・動画撮影し、当会議の案内にて利用させていただく場合がございます。
- ・10月27日(土)以降のキャンセルは、全額申し受けます。ご了承ください。
- ・プライバシーポリシーはこちらをご覧ください。<https://www.globis.co.jp/privacy/>

## 前回のご登壇者 ダイジェスト一言



日本は現場力が強く現場のIT化は進みデータも蓄積されている。問題はそのデータが活用されていないことだ。データを皆で共有・活用することで日本のものづくり・サービス産業のレベルを上げていける。データ媒介を通じ、産業・人・機械をつなげる。このコンセプトが“Connected Industries”だ。

経済産業大臣  
世耕弘成氏



新規事業を成功させるのは簡単ではない。1/3くらいはヒットを出せると考えていたがそんなに甘くない。でも成功したときは、投資に対して数百倍、数千倍のリターンが返ってくる。大企業においては、数十本に1本成功すればいいというくらいのマインドでチャレンジすることが必要だ。

株式会社ディー・エヌ・エー 代表取締役社長 兼 CEO  
守安 功氏



グローバル展開において、国ごとの攻め方・勝ち方が違うため、ローカル人材とグローバル人材とでは、人材育成の方法・能力・スキルも異なり、分けて考える必要がある。グローバル人材は、特に共通言語である会計、すなわち、ビジネスを数字で語れるかは必須の要件だ。

スリーエムジャパン株式会社 代表取締役副社長執行役員  
昆 政彦氏



単に残業時間を減らすことだけではなく、減らせた時間を使っていかに本質的な仕事ができるか。減らす仕事と増やす仕事を入れ替えることによってイノベーションに繋がっていく。そういう働き方改革をしているところが、今成功しているのではないかなと思う。

株式会社ワーク・ライフバランス 代表取締役社長  
小室 淑恵氏



オペレーションが強い企業ではマーケットや顧客の状況を見据えながら変えていくというのは非常に弱いので、データでファクトを押さえて、思い込みの一つ一つを剥いでいくこと、そしてそれをスピーディーに変える必要がある。事業上の慣習とデータとの間に齟齬があれば、そこがチャンスとなる。

日本交通株式会社 代表取締役社長  
知識 賢治氏



LGBTについて、当事者の方から直接お話を聞くことで自分も変わった。多様性とは本来楽しいものだと思う。人から強制的なされ、やらざるを得なくなつてから考えるのではなく、みんなで楽しめるように一歩踏み出してみたらよいのではないかな。

株式会社丸井グループ 代表取締役社長  
青井 浩氏



デジタル化は我々のビジネスにとってチャンスだ。デジタル化が生む変革があるからこそ顧客に価値を提供できる。IoTを進めていけば、日本の強い現場のデータ全てをデジタルで管理することができる。現場と顧客、現場と財務をデジタルで結ぶことで変革を実現できる。

コニカミノルタ株式会社 常務執行役員  
浅井 真吾氏



生身の体は人間とロボットを隔てるものではないと言うことは理屈としてわかっているが、日常生活ではまだ実感できていない。人というのは単に肉体で定義されるものじゃないということを、実感してもらえるようになるといいなと思う。

大阪大学大学院 基礎工学研究科 システム創成専攻 教授  
石黒 浩氏



新規事業創造のドライバーは大きなビジョンとそれを実現する戦略。これらを描くには過去やつてきたことを自己否定する気概が必要だ。数多ある技術の中からバリューは何か、受け入れられるのか、を考え抜き、この技術は絶対くるといふ“確定された未来”をいかに見つけ出せるかが鍵である。

日産自動車株式会社 フェロー  
久村 春芳氏



データ活用・AI等のツールから考えるのではなく、何を高めたいか、どんな経営数値を高めたいか、アウトカムから発想することが重要。ルール遵守ありきではなく、変化・リスクにダイナミックにマッチング、アロケーション、スケジューリングすることが大切だ。

株式会社日立製作所 理事 研究開発グループ技師長  
矢野 和男氏



若い世代を会社のロイヤリティで率いることはできない。一緒に働きたいと思ってもらえるか・ビジョンを分かり易く語れるかがリーダーには求められる。又これまでローテーションを積極的に行ってきたが、どのあたりで専門性を培わせるかを踏まえた人事施策へとシフトすることが必要だ。

味の素株式会社 執行役員 グローバル人事部長  
松澤 巧氏



ヘルスケア事業の究極の姿は世の中から病気の人をなくすこと。それを本当に実現したら会社の存在意義はなくなってしまう事になるが、私はそれでもよいと思っている。自社や自業界という狭い範囲で考えるのではなく、企業は社会的存在であるという認識がとても大事である。

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 代表取締役社長  
日色 保氏



イノベーションを戦略的に生み出すことはできない。イノベーションはそんなに簡単なものではなく、そこに恣意性が見えれば見えるほど、起こらない。大事なことはイノベーションが偶発的に起こるための「場の仕組み」づくりであり、そこに成功のカギが存在している。

株式会社ロフトワーク 共同創業者 代表取締役  
林 千晶氏



日本からグローバルを考えるのではなく、宇宙から地球を見てグローバル化を考えており、日本を特別視していない。グローバルに出るときに意識しているのは、商品が勝てるかどうか、そしてマーケティングが統一されているかどうかだ。ここをどこまで徹底できるかが成功のカギだと思っている。

株式会社アシックス 代表取締役会長 兼 社長CEO  
尾山 基氏



リーダーは心の持ちようを常にプラスにすること。簡単には難しいが努力を続けることが必要である。「念ざれば花開く」という言葉があるが、「念」という字は「今」の「心」と書く。今の心をプラスにしようと努めると自然と花開く。全ては心の持ちようなのである。

慈眼寺 住職  
塩沼 潤潤氏



議論にダイバーシティがあることが重要である。色々な要素を持った人達がコンフリクトを起こし議論し新しいものを作っていく中でトップの役割は、たくさん意見を出させるファシリテーターであること、最後に決めることである。コンフリクトの無いところに革新イノベーションは起こらないと思っている。

株式会社資生堂 代表取締役 執行役員社長 兼 CEO  
魚谷 雅彦氏

# 「G1」というプラットフォーム

混迷する世界にあつて、次世代を担うリーダー層が集い、学び、議論し、日本再生のビジョンを実現する場にしたいと考え、2009年に立ち上げた「G1サミット」。多岐に亘る領域で活躍するリーダーたちが、党派や領域を超えて、行動から突破につなげていくプラットフォームです。

「G1サミット」から生まれたイニシアティブや連携は、政界・財界・学界をはじめとする各界の中核で動き始め、日本社会を変革する大きなうねりとなりつつあります。

カンファレンス	本会議	<b>G1サミット</b> 各領域の第一線で活躍する リーダーが集い、党派や領域を超えて議論し行動する		
	グローバル・経済	<b>G1経営者会議</b> 日本経済の中核を担う 代表的企業のリーダーが集い、 混迷と停滞の打破を目指す	<b>G1ベンチャー</b> イノベーションを継続的に生み出し、 強いベンチャー企業を育む 生態系の構築を目指す	<b>G1 Global Conference</b> グローバルリーダーたちが集い、 国際社会の取り組むべき課題と 日本の果たす役割を議論する
	地域・世代	<b>G1新世代リーダー・サミット</b> 各領域で活躍する20歳～30歳の リーダーを募り、日本の未来を担う 人材を発掘・育成する	<b>G1地域会議</b> (九州、関西、中国・四国、中部) 同時多発的な変革を通じて、 地域から日本の変革を目指す	<b>G1カレッジ</b> 各分野で学ぶ大学生が リーダーシップを学び ネットワークを形成する

## シンクタンク機能

G1政策研究所  
(100の行動)

G1テクノロジー研究所

G1宇宙研究会、  
G1ディープラーニング研究会、  
G1 Fintech研究会

G1文化研究所

G1環境研究所  
(G1海洋研究会)

## 部会ネットワーク

G1メンバーたちが各領域の創造と変革を目指して  
ネットワークを構築し、勉強会を主催しています

G1政治部会

G1首長ネットワーク

G1官僚部会

G1メディア部会

G1スポーツ部会

G1ソーシャル部会

## イニシアティブ

「批判よりも提案を」「思想から行動へ」という行動精神から、  
多くのイニシアティブが生まれています

アスリートソサエティ

熱意ある地方創生  
ベンチャー連合

KIBOW

子どもの家庭養育  
推進官民協議会

被選挙権年齢  
引き下げプロジェクト

NEXTOKYO

一部抜粋

# 知命社中



グロービスが提供する役員向けプログラム「知命社中」は、異業種から集った経営幹部が切磋琢磨しつつ、経営者としての使命を自得する場です。各界の第一線で活躍する講師や参加者同士の対話による社内では味わえない異次元の刺激から、経営哲学を磨き、時代認識を明確にした上で、目指すビジョン、組織が向き合うアジェンダを明確にしていきます。また、アセスメントでの自己客観視、吉野山など非日常体験の場を活かして自己内対話を深めていきます。



## 開催概要

- 実施日：2018年9月～2019年4月（7モジュールで計15日間/モジュール合宿形式）
- 場所：東京近郊（小田原など）、奈良県吉野町、静岡県浜松市、茨城県水戸市
- 対象：企業の次の経営を担うエグゼクティブ層（原則執行役員以上）
- 定員：30名 ※定員になり次第募集を締め切らせていただきます。

詳細はお問合わせください。

知命社中事務局：横田・塩谷

Email：chimei@globis.co.jp

TEL：03-5275-3695

WEB：https://chimeishachu.globis.co.jp/